

インターンシップ事業 留学生受入についてのお願い

留学生の受入をしていただける企業のみなさまへ、以下のとおりお願いいたします。

1. 基本的な感染症対策について

受入中は、マスクの着用・手指消毒の徹底・こまめな手洗いや手指の消毒・大声での会話の自粛など、基本的な感染症対策を留学生に守らせてください。『感染リスクが高まる「5つの場面」』については特にご注意ください。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしで近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



2. 宿泊・会食の自粛について

宿泊を伴う受入や、大人数による会食は感染リスクを高めることとなりますので、おやめください。

3. 体調管理について

毎日の受入開始時に学生の体調をご確認ください。貴社独自の健康管理チェックシートがあればご利用ください（財団作成の様式もございます）。

学生に発熱などの風邪症状がみられる場合には、オンライン型への変更や、訪問型受入の延期もしくは中止をご検討ください。

4. インターンシップ終了後について

インターンシップ受入終了後、2週間以内に貴社での感染者が発生した場合は財団までご連絡ください。

5. 訪問型受入の延期・中止の可能性について

財団が訪問型での受入が困難と判断した場合は、オンライン型への変更や延期もしくは中止をお願いすることがあります。

【お問い合わせ先】 公益財団法人岡山県産業振興財団 総務部 総務企画課 担当：佐藤、神子戸(ｺｺﾄ)

TEL : 086-286-9661 FAX : 086-286-9662 E-mail : asia@optic.or.jp